



30

通巻 第2734号
2016年2月12日発行

1960年創立
昭和35年2月5日



第2510地区
重点課題

●2015-2016年度 IRテーマ
世界へのプレゼントになろう

2015-16年度IR会長
K. R. ラビンドラン

- ①クラブ戦略計画への支援
- ②新会員のフォロー支援
- ③クラブサポート強化

●本日 2月12日 金のプログラム

◎「ロータリー平和センターと
ICU東ヶ崎ダイアログハウス」
スピーカー: 渡邊恭久パストガバナー(滝川RC)

●来週 2月19日 金のプログラム

◎小樽市内高校優秀卒業生表彰

●再来週 2月26日 金のプログラム

◎小樽市内3クラブ合同例会

●第27回例会報告 2月5日 新入会員卓話 松尾和歌子会員 ■司会 廣瀬副会長

- 国家斉唱 ■「君が代」
- ロータリーソング ■「四つのテスト」
- ビジターの紹介 ■

小樽雪あかりの路実行委員会の皆さま
眞田 夏奈衣様 (ミス小樽)

■会長の時間 ■ 廣部会長

○いよいよ今日から、18回目の「小樽雪あかりの路」が開催されます。例年通り、当クラブも協賛していききたいと思います。後ほど、おいで頂いた実行委員会の方に、協賛金をお渡しいたします。ミス小樽の支援金のお願いには、皆様、喜んでご協力いただけるものと期待しております。ここで、小樽市ブックスタート協議会に、事業補助金をお渡ししたいと思います。工藤会員お願いします。例会終了後、理事会を開きます。

○ブックスタート事業助成金の授与 工藤会員

小樽市ブックスタートも開始されて、今年で13年目に入りスタートセット9,393セットでしたが急激な少子化による深刻な問題が起きております。十何年やって参りましたのでこれからも頑張ってお参ります。



■幹事報告 ■ 坂口幹事

○例会会場・時間変更のお知らせ＝

・余市RC 2/24 (水) ロータリー創立記念例

会 (夜間例会) につき
例会場 ホテル 水明閣 点鐘 18:30
・钱函RC 2/11 (木) 休会 2/25 (木) →
2/26 (金) 3クラブ合同例会のため。
○2月26日開催のロータリー創立記念小樽市内3
クラブ合同例会の出・欠のご返信未回答の会員
の方は13日までに幹事までお知らせ願います。



新入会員合宿セミナー報告

山田会員

1月30日、31日に登別グランドホテルにおいて第2510地区新入会員合宿セミナーが行われました。各クラブより新会員約90名の参加と嵯峨ガバナー始め、ガバナー補佐、幹事約30名で総勢約120名のセミナーとなりました。



小樽南クラブからは三栖会員、石川会員、山田と齋田ガバナー補佐が参加いたしました。

嵯峨ガバナーより開会の挨拶があり、この度の新入会員セミナーは2510地区では初めての試みであり、セミナーの主旨として、3年目までの会員の退会率が高いので「もっとロータリーの良さを理解しても



りたい」と述べられておりました。嵯峨ガバナーも入会から2年程で退会しようと悩まれたそうですが、今となってみれば、継続して本当に良かったとおっしゃっておりました。

次に、弘前アップルRCの関場慶博PGより「だからこそロータリー」という演題で講和をいただきました。ロータリーに入会し、「ポリオ撲滅運動に関わり、生き方の幅が広がった」、「入会しなければ知らなかったことが沢山あったと思う」、「ロータリーは世のため、人のために役立つ活動している」、「例会、親睦活動、奉仕活動を通じて楽しくてためになるクラブを自ら作る」等述べられておりました。

その後、8名程にチーム分けされ、「ロータリーライフを楽しむためには」、「退会者を減らすには」などのテーマでグループ討論を行い、1日目の研修は終了。

各自、登別温泉の湯にゆっくり浸かり、全体での懇親会。各部屋に戻り、酒を酌み交わしながらグループ討論の続きと各クラブの実情などを話し合いながら就寝しました。

2日目の研修は札幌真駒内RC丸山淳士PGより「ロータリアンという人たち」という演題で講演いただきました。「ロータリーにはいろんな人がいる」、「上下の関係はない」、「相手の身になって考える」、「奉仕は楽しんでやる」、「何事も継続することが大事」等述べられました。

その後、1日目のグループ討論の発表があり、「会員増、特に女性会員」、「他クラブとの交流」、



「地域や子供たちとの交流」、「卓和の充実」、「食事を豪華に」、「会費を安くして入会しやすく」、「新人オリエンテーション」など多くに意見が発表されました。

全体を通して、セミナーで初めて会う方と2日間寝食

を共にし、始めは緊張しておりましたが、徐々に打ち解けてすばらしい交流が実現できたと思います。

来年度、このセミナーが開催されましたら、新会員（3年未満会員）の方の参加をお勧めします。このような機会をいただきまして、ありがとうございました。



雪あかりの路キヤリアバン隊

眞田 夏奈衣様（ミス小樽）



今年で18回目を迎えます小樽雪あかりの路は、本日から14日までの10日間、運河と旧国鉄手宮線をメイン会場に雪とロウソクの幻想的な世界を作り出しております。これから各テーブルに廻らせていただきます。もれなく私から、笑顔と握手のプレゼントをさせていただきますので、皆さまどうぞご協力のほどお願いいたします。（各テーブルからの「あたたかい募金」金額 58,000円とクラブから別途寄付いたしました。）

会員誕生祝

2月生まれの会員 2/11 梶会員・永原会員 /12 村越会員 /20 西会員 /23 佐藤(喜)会員



いつまでもお元気で！



新入会員卓話

松尾和歌子会員



昨年11月に入会いたしました松尾和歌子です。この度、新入会員卓話をすることになり大変緊張しております。何卒宜しくお願いいたします。

今日は私についてお話をさせていただきたいと思います。

私は、昭和52年9月12日生まれの38歳です。血液型はA型です。性格は自分ではよくわからないのが正直なところですが、家族から見るとマイペースのようです。家族は父と母と姉の4人家族で、父は浄土宗無量寿寺の住職をしています。母は寺庭件主婦、姉は中高一貫の私立の教師をしています。私はといえますと、父のもと僧侶として働いております。

幼少時代は喘息をもっていたため少し体が弱く、またどちらかといえますと一人遊びが好きな女の子でした。幼稚園は野村先生が園長をされております、まや幼稚園に入園し、色内小学校、石山中学校を経て、潮陵高校に入学いたしました。一年間の浪人生活ののち、淑徳大学に進学いたしました。淑徳大学といえますのは私立の大学で千葉と埼玉にキャンパスがあり、私は埼玉のみずほ台にある国際コミュニケーション学部に通っていました。大学では、文化コミュニケーション学科でしたので外国の文化・文学を中心に英語や情報処理等を学んでいましたが、今となってはなにひとつ身になっていないのが少し残念です。

また、千葉の学部にくらべ埼玉の学部は当時出来て2年目ということもあり、学生の人数も少なくアットホームな感じでした。北野武さんのお兄様の北野大さんが教授をされており、一つ上の学年には女優の菅野美穂さんが在籍していました。淑徳での学生生活も充実していたのですが、将来を考え2年修了とともに途中退学いたしまして、駒沢大学の編入試験を受け、仏教学部仏教学科に3年次編入いたしました。

駒沢大学では原始仏典を学ぶゼミに入りましてパリ仏教文献の勉強をしていました。以前の学部とはまったく違う分野の勉強でしたので、すべてがゼロスタートというかマイナスくらいからのスタートで、正直、大変でしたが初めて出会う原始仏典やパリ語はとても新鮮でしたし魅力的でした。

大学時代は部活やサークル活動をすることもほとんどありませんでしたが、少しの間所属していたのは探検部という同好会で、奥多摩の方にある洞窟に

一度だけ入ったのですが、ヘッドライトをつけ、匍匐前進したり、今思うと良い経験だったと思います。

大学時代を振り返ると、特に3・4年生は朝から夕方まで授業がうまっていたこともあり、学校と家の往復が多かったのですが、その中で、尊敬する先生や、今も連絡がと取り合える友人に出会えたことは本当に良かったと思っています。

両親とは4年で必ず小樽に戻るという約束のもと道外の大学に行かせてもらいましたので、大学卒業後は、すぐに小樽に戻って参りました。

小樽に戻ってからは、家の仕事を手伝いながらおけいこ事を始めまして、パン好きが高じてパンの資格を取りに札幌まで通い、着付けやフラワーアレンジメントなどの資格取得にもチャレンジしてみました。

小樽に戻ってきてからの1年間は、お寺の法務員として、主に事務的な仕事をしていたのですが、お寺と自分の将来を考え、仏道に入るための得度という儀式を行い、総本山や大本山で夏から秋にかけての3週間の修行を3年間、3年目の12月に加行という修行を3週間いたしまして僧侶となり、実家であります無量寿寺の副住職とならせていただきました。修行中は世間との連絡はいっさいたち、お寺の中にももつての生活でしたから、大変厳しいこともありましたが、自分と対話する時間をえることができ、同じ志や悩みをもつ仲間にも恵まれたことは大変良かったです。

現在は僧侶のかたわらフラワーアレンジメントサークルの講師を週一回しています。

講師活動はちょうど、僧侶になってすぐくらいに、習っていましたがフラワーアレンジメントの先生から講師のお声掛けをいただきまして、篠路、余市、小樽と3教室担当させていただいていたのですがお寺の仕事との両立も考えまして現在は小樽教室だけ担当しています。

フラワーアレンジメントといいますが、生花だけではなく、生花を特殊な加工液に漬けて乾燥させて作られたプリザーブドフラワーのアレンジや押し花、寄せ植え等もいたします。どの作品もテキストはあるのですが、生徒様の作品はそれぞれに個性がでていて、同じ作品は一つもありません。作り手もまた観る側もそれがまたおもしろみであり魅力だと思います。

お花の仕事は当初3年間頑張ってみようと思っていたのですが、まさか10年以上もするとは私自身も思ってもいませんでした。34歳くらいまでは、お花の仕事を中心に活動していましたので両親にはだいぶ迷惑をかけたと思います。34歳くらいからお寺関係の仕事でも任される仕事が増えたこともあり徐々にお寺の仕事が中心になっていきましたが、現在も細々ではありますがお花の仕事も続けられていることはありがたいことだと思っています。

私は2つの仕事をこなせるほど器用ではないのですが、お寺の仕事とお花の仕事を10年以上続けてこられたのは、家族をはじめいろいろな人のおかげだと思っています。

また、お花に関しては、ただお花が好きだったからでは続けられなかったと思いますし、それだけでは続かなかったと思います。生徒さん達との交流、会話であったり、同じ空間を共有するものから感じるものであったり、人と人とのつながりを感じられたからこそ続けられたのだと思います。

お寺の仕事に関しましては、ここ4年くらいでいろいろな経験や学びの機会をいただき、全国にわ

たっているいろいろな方に出会える機会にも恵まれました。それは貴重なことで大変ありがたいことだと思っています。私自身、まだまだ勉強不足な面も多く、学んでいかなければいけないことや課題もたくさんありますが、諸先輩の皆様方にご指導をいただきながら精進していきたいと思っています。

自坊におきましては、昨年よりお寺で月一回の写経会を始めました。現在12・3人のお檀家様が参加して下さっています。将来的には、もっとたくさんの方に参加していただきたいと思っていますし、一般の方々にも参加していただけるようになればと思っています。今後は写経会以外でもお寺でなにかできればと思案中です。

そして、この度ロータリークラブに入会させていただき、また新たな出会いと学びの機会をいただけたと思っています。入会してまだ3ヶ月くらいですのわからなことばかりですが、違う職種の方もおられ、大変刺激になっています。いろいろな方々との交流をいただきながら自分の引き出しが少しでも増えていければと思っています。ロータリークラブの会員の皆様には今後ともご指導を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

■出席委員会

・平成28年2月5日

会員総数 73名 本日の欠席者 11名
浅村、荒木、桂、角野、佐藤(喜)、鈴木、高木(成)、地山、福井、本間(清)、湊

・平成28年1月22日(金)

会員総数 73名 出席摘要免除者 14名

病欠者数 0名 ホーム欠席者数 17名
ミーキャップ 3名 純欠席者数 14名
確定出席率 79.41%

■ミーキャップ

なし

●2015-2016年度 第9回 理事会議事録 2/5

○議題

①2月、3月の例会プログラムの件

- 2月5日 新入会員卓話 松尾和歌子会員
- 2月12日 「ロータリー平和センターとICU東ヶ崎潔ダイヤログハウス」
渡邊恭久パストガバナー
国際奉仕委員会担当
- 2月19日 市内高校優秀卒業生表彰式
- 2月26日 3クラブ合同例会 ニュー三幸
酒井正人パストガバナー
17:00 点鐘
- 3月4日 海上自衛隊余市防備隊司令
吉田圭司氏
- 3月11日 休会(定款6-1-C)
- 3月18日 クラブフォーラム IMの準備
- 3月27日(日) IM

②IMの件

福島ガバナー補佐事務局長より説明。IM実行委員会を組織化、実行委員長は見延会員。基調講演は羽部パストガバナー。第6G7クラブより「ロータリーの夢、クラブの未来」について発表。小樽南クラブは全員登録を。

③台湾友情交換プロジェクトの件

2月15日、台湾3490地区から8名のメンバーが来樽。第6G(小樽RC, 小樽南RC)で対応。18:00貴賓館で歓迎会。

④市内高校優秀卒業生表彰の件

湊青少年奉仕委員長より報告。全日制10校、定時制2校、桜陽定時制2名含め13名。

⑤退会会員の件

福井豊司会員

⑥その他